

四日市にゆかりの武士

赤堀一族

赤堀一族とは？

赤堀一族は、中世の四日市で活躍した武士の一族です。四日市を支配するに至り、市場の発展と四日市庭浦の発展に貢献したといわれています。彼らはどのような人物で、どのようなことをしたのか調べてみましょう。

俵藤太（藤原秀郷）

ムカデ退治で有名。鶴の森神社が所蔵している「十六間四方白星兜鉢」★は秀郷の伝承がある。

秀郷十一世の孫



★「十六間四方白星兜鉢」

昭和30年に国指定重要文化財に指定されている。

足利又太郎忠綱

治承の役（1180年）で上野国赤堀（現在の群馬県）を賜る。
「吾妻鏡」にも名前が登場する。

甥

足利豊前守景綱

忠綱が謀反の疑いを受け、一家が離散した際、
信州の木曽山中に逃げ、佐野小次郎と改名する。

景綱八世の孫

四日市の赤堀氏の祖

田原孫太郎景信

応永年間（1394-1428）に、上野国赤堀より
伊勢国栗原（現在の赤堀町）に移住。
その際に地名を赤堀と改め自身を赤堀肥前守と称した。

浜田家
(三男:忠秀)

1470年浜田城築城

現在の鶴森公園に城を築く
四日の市を始めたとされる。

赤堀家
(次男:景宗)
(一説:秀宗)

赤堀城主。総家
現在、赤堀交差点に
石碑が建てられている

羽津家
(長男:盛宗)

羽津城築城
羽津町城山に建てられていた。
当時は海岸が近く、航行する船が監視でき
交通路の支配が留意されていた。

赤堀三家

★裏に赤堀家に関する資料の一覧があります★

赤堀一族について述べられた資料です。禁帶出以外のものは貸出することができます。

赤堀一族について

	資料名	著者	出版社	発行年	請求記号	ページ
1	四日市市史 16巻	四日市市	四日市市	1995	L223//16	490-502
2	鵜森神社の歴史	山路浩一	宗教法人鵜森神社	2005	L170/05	-
3	四日市の誕生 市の道浜往還	増田武夫	忠秀顕彰会	1989	L223/中部	20-27
4	旧四日市市内東海道往来	増田武夫	忠秀顕彰会	1982	L223/中部	5-7
5	群馬県立歴史博物館紀要	群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館	1999	L223	145-162
6	目でみる郷土史 四日市のあゆみ	市民部地域振興課	四日市市役所	1978	L223	74-77
7	よっかいち歴史と 文化財散歩	中山善郎	四日市 ライオンズクラブ	1976	L223/76	11.12
8	四日市もっと知り隊検定 公式テキスト総集編	四日市もっと知り隊 検定実行委員会	四日市商工会議所	2013	L223/13	148.149
9	四日市市埋蔵文化財 発掘調査報告書38 赤堀城 5	四日市市教育委員会	四日市市教育委員会	2006	L223/常磐	6.7
10	四日市の基を作った 赤堀城の歴史	常磐地区市民センター	常磐地区市民センター	-	ファイル	-
11	常磐郷土史	中村如水	-	1971	L223/常磐	1
12	四日市市史（昭和5年版）	四日市市教育会	名著出版	1973	L223	540-545 735-737
13	伊勢軍記 下	栗田 導善	-	1901	L21/01	濱田合戦并 赤堀落城の事
	文化展望四日市 ラソージュ 9	四日市市文化振興財団	四日市市文化振興財団		L051/9	

俵藤太秀郷、十六間四方白星兜鉢について

	資料名	著者	出版社	発行年	請求記号	ページ
1	文化展望・四日市 ラソージュ15	四日市市文化振興財団	四日市市文化振興財団	1998	L051/15	13.14
2	四日市市指定文化財 ガイドブック	四日市市教育委員会	四日市市教育委員会	2009	L709/09	105
3	日本の伝説 近畿	藤沢衛彦	河出書房新社	2019	L172/19	162-173

赤堀一族のお城について

	資料名	著者	出版社	発行年	請求記号	ページ
1	四日市市埋蔵文化財 調査報告16 赤堀城	四日市市教育委員会	四日市市教育委員会	1986	L223/常磐	-
2	三重の中世城館	三重県教育委員会	三重県良書出版会	1977	L52/77	38-40
3	三重の城	福井健二	三重県良書出版会	1979	L522/79	41-43
4	伊勢 羽津城跡4 (城 178号)	池田きよ子	東海古城研究会	2001	L522/01	16-18
5	四日市市史 第4巻	四日市市	四日市市	1989	L223//4	715-717